

戰史資料

第三師團防疫給水部(宮古島)

調製官 第1師團防疫給水部副官 陸軍衛生大尉 長瀬角次

一 編成裝備關係

一 編成人員

兵器彈藥

軍醫中士佐

一

輜重准尉

一

自動獨車六

軍醫尉官

六

輜重下士

十四

三八騎銃七

藥劑尉官

一

輜重兵

一〇八

衛生尉官

二

主計尉官

一

衛生准尉

一

主計下士

一

衛生下士

二〇

技術下士

二

療工下士

一

判任文官

一五

衛生兵

九〇

計

二五四

二 職員表

部長	陸軍少佐	大科連夫	現役
部員	陸軍衛生大尉	長瀬富次	
	陸軍衛生大尉	西川伊佐美	召集
	陸軍衛生大尉	成田精二	
	陸軍衛生大尉	谷藤五郎	
	陸軍衛生中尉	柴田義一	
		小島善良	
		岡上新一	
		原敬一郎	
		米田一平	
	陸軍衛生少尉	小林子義	
	陸軍少尉	奈良橋金八	
	陸軍中尉	片桐義人	

3. 人員兵器増減度係

昭和九年三月他師團ニ薬剤尉官一、衛生兵四、
 補重兵ニシテ転出セシメ、欠員中、同年七月北滿ヨリ
 沖繩縣宮古島ニ移駐ニ際シ、西東軍ヨリ補充ヲ受テ
 同滿洲駐屯間、自動負重車ハ其ノ定数ヲ保有シ
 アリタリモ、宮古島進駐ニ際シ十二車輛ヲ減セラレ
 十六車輛トセラル

(イ) 宮古島進駐ニ際シテ小銃九々式一ニシテ銃ヲ裝
 備携行セシモ、同島ニ於テ戰況ニ伴ヒ、是等
 全部ヲ戦斗部隊ニ保管、轉換セシメテ、代品ト
 シテ、宮古島中學校ニ於テ學校教練ニ使用中
 ナリシ三八式歩兵銃七〇銃ヲ交付セシ

(ロ) 宮古島進駐ニ伴ヒ將校以下ヲ揃揃各ニ個ヲ
 増加携行シ、又同島ニ於テ昭和二十年二月、戰車

破壞用急造爆雷(十粒及五粒)五名二個
ヲ製作シテ裝備ス

大台湾人、鮮人、現地人使役ノ状況

宮古島ニ於テ自昭一〇、八、一、間、戰鬥間各部隊用

新水槽構築シタメ、現地住民延一、五〇〇名ヲ

使用ス

二、部隊履歴ノ概要

昭和十六年八月七日、哈爾濱、關東軍防波給水部

ニ於テ、備成免結同日、第一師團長ノ部下ニ

自昭一六、四、哈爾濱ニ駐留、同地附近ノ警備

昭一九、四、五、師團駐ニ伴ヒ、有々、哈爾濱ニ移駐

昭一九、七、二、津浦線、宮古島ニ進駐シタメ、有々、哈

爾島ニ出陣

自昭一九、八、一、宮古島ニ到着

昭和十七年八月一日

陸軍

自昭二〇、八、一、宮古島駐留

昭二一、一、三、宮古島出陣(米輸送船)

昭二一、二、九、浦賀入港

昭二一、二、二一、復員

三、指揮系統關係其ノ変遷ノ概要

特別事項ナシ

四、作戰準備關係

一、作戰計画ノ概要

本部ヲ師團後方陣地内ニ分屯班六箇ヲ各戰鬥

地区ニ配備、分屯セシメ、某國內ノ防護、並ニ防護

給水ニ任ズ

特ニ昭和二十年二月末日迄ニ戰鬥間飲用水

二万五千人半月分(一人一日十五升トス)ヲ

洞窟式及半洞窟式ヨリテ製新水槽

構築シテ之ニ搬水貯藏ス

自昭和二〇三 主カヲ以テ集團兵員並現地在民ニ

對スル マリナヲ診療及防護並水工事ヲ

實施ス

二 捕地ノ状況

洞窟棲息捕地及個人隊ヲ構築シ自衛戰

斗ノ完壁ヲ期スト共ニ戰斗ニ際シテハ

師團輜重兵隊隊長ノ区処ヲ受テ

三 軍需物品ノ集積状況

昭和三年四月以降主食代用甘藷ノ現地自

活ニ着手シ同年十月ニ於テハ一人一日

甘藷ニ抵テ吟養セリ

養豚養蠅蚱 製塩ヲ實施 自給自足ス

六 訓練ノ状況

本然ノ任務タル防護並防護給水訓練ノ他

舊古島ニ在リテ凡テ親ヲ訓練ス

不夜間自衛訓練

口挺身切込訓練 (三人組ヲ以テス)

八 對空身躍

二 對戰車肉攻

五 戰鬥ノ状況

八 參加兵士並要テ作戦

十月南西空襲 (昭和二〇)

天一 霧作戦 (二級戰) (昭和二〇)

二 機動部隊未敵状況

第一回未敵 昭和十九年十月十日

自昭和二〇三 連日敵機乃至數十機未敵ス

六 吟養衛生

昭和三年五月迄ハ定量ニ給養セシモ六月以降
 四五〇瓦ノ主食ニ減量十月十一月ニ於テ一〇〇瓦
 ニ減量到食調味品亦主食ニ注行減量
 十二月中旬以降定量ニ復セリ
 主食代用甘藷生野菜代用野草ノ利用ヲ
 奨励活用ス
 特ニ昭和三年六七月ニ於テハ戦力恢復維
 持上生肉(馬肉)一人一日一〇〇瓦現地産砂
 糖一人一日六〇瓦ヲ給養ス
 衛生ニ於テハ氣候環境ノ悪影響ハ傳染病
 茲マシクテノ浸淫ニ余儀ナクセシタリ
 宮古島駐留部隊間傳染病(腸管系)
 罹患十三名内二名死亡マシク四罹患一百二十
 名内死亡四名ヲ生セリ

七、終戦ヨリ歸還迄ノ行動概要

主カハ宮古島ニ在リテ各部隊ニ對シテマシク
 予切協力及ニ一五千人ニ對シテ養便古
 検査ヲ各自施ス
 昭和三年九月石垣島ニ將校以下十五名ノ
 マシク検査班ヲ派遣軍及民ニ對シテ
 マシク検査ヲ實施ス
 十一月以降集団各部隊ガ米輸送船ニ依
 リ逐次復員スルニ際シ將校以下十六名ノ船内
 救護班三組ヲ編成シ米輸送船ニ各勤務
 セシム
 十二月二十日主計中尉片桐義人ハ翔龍ニ
 於ケル米庫庫役員トシテ同島ニ赴ク
 主カハ昭和三年一月三十一日米輸送船

ガダン錦二乗船 同年二月三日官古島
出帆 同月九日浦賀員塔入塔 同月十日
復員ス

昭和十七年六月一日

戦史資料

獨立連射隊第三十六中隊

沖繩県宮古島下地村

編成裝備關係

編成人員 一四五名

兵 若一或四十七挺連射砲 八門

九式短小銃 五千六銃

七式甲自動貨車 八輛

觀測具 若干

彈藥 小銃彈藥 二万発

一式徹甲彈 一万六千発

日榴彈 九千発

又職員表



軍